学校番号	1015

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校標準現代文Ｂ（第一学習社）						
副教材等	新総合　図説国語　改定新版（東京書籍） 四訂版　漢字検定７～2 級対応　常用漢字クリア（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・二年次に引き続き、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身につけましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、「話す・聞く能力」や「書く能力」を磨きましょう。
・小説、評論、随筆など、様々なジャンルの文章に触れることで、多様な価値観や視野を手に入れてください。
・提出物の期限は守り、定期考査・小テストには計画的に学習をして取り組んでください。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	ａ．関心・意欲・態度	ｂ．話す・聞く能力	ｃ．書く能力	ｄ．読む能力	ｅ．知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して其の向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 発問評価 指名音読	記述の確認及び分析 課題の提出	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	世界を見つめる	教材: 「ワスレナグサ」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。作品の主題に迫り、自然についての思索を深めている。 d:文章の構成について理解している。本文のタイトルの意味するところを理解している。 e:全文を正しく音読できる。	a:行動の観察・記述の点検 d:記述の確認・定期考査 e:記述の確認・定期考査
	小説を読む(一)	教材: 「話を聞かせて」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。作品の主題に迫り、自己の生き方に引きつけて考え、思索を深めている。 d:酒屋と居酒屋という二つの場面の役割と、場面転換の特徴について理解している。本文のタイトルの意味するところを理解している。 e:全文を正しく音読できる。作者の他の作品を読み、より深い作品理解に勤めている。	a:行動の観察・記述の点検 d:記述の確認・定期考査 e:記述の確認・定期考
	新しい視点	教材: 「思い込みの危険性」	○	○			○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。筆者の主張に迫り、自身が物事に取り組む際の姿勢について考えている。 b: 「思い込み」が生じる原因や、「思い込み」が問題となるような状況に意見を出し合い発表する。 e:全文を正しく音読できる。慣用表現の用法について正しく理解している。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察と確認 e:記述の確認・定期考査

後期	生への思索	教材: 「経験の教えについて」	○		○		○	a: わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。経験に学ぶことの重要性を、自己の問題として考えている。 c:論の展開のしかたを理解し、経験と自己認識との関係について自分の考えをまとめ、表現できる。 e:全文を正しく音読できる。指示語、接続語について正しく理解している。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の点検と確認 e:記述の確認・定期考査
	小説を読む(二)	教材: 「山月記」	○			○	○	a:わかりにくい言葉・表現を辞書で調べている。自分の内に虎を自覚することがあるか、自己に引きつけて考え、思索を深めている。 d: 構成の巧みさを理解している。主人公の変身にこめられた意味を考え、この小説の主題をつかんでいる。「臆病な自尊心」「尊大な羞恥心」について理解している。 e 全文を正しく音読できる。漢文脈を駆使した独特の表現を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:行動の観察と確認 e:記述の確認・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。